

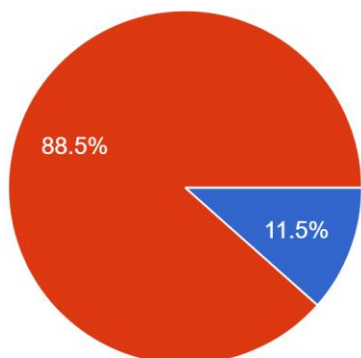
**かけはしチャンネル2025
申し込み状況
視聴後アンケート結果
講師回答**



かけはしチャンネルWeb講座2025申し込み 2026.2.17データ

今回の申し込みはどなたがされましたか？

381 件の回答

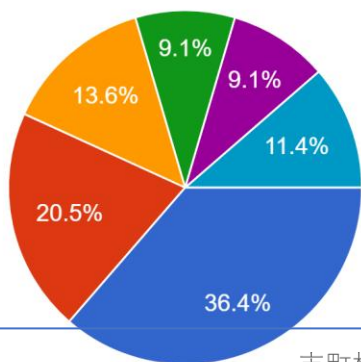


- A.障害のある方本人またはご家族
- B.病院・事業所等の関係職種(教育・行政の方もこちら)

参加申込：A.本人またはご家族

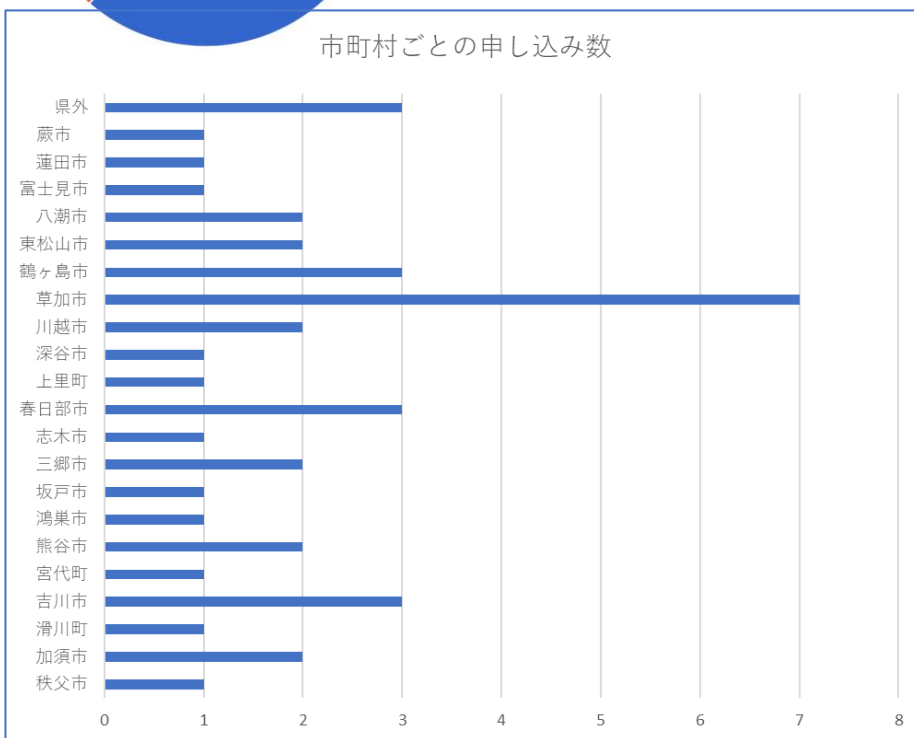
お子さんの年齢層を教えてください

44 件の回答



- 0～3歳
- 4歳～就学前
- 小学生
- 中学生
- 高校生 (高校に就学されていない方は中学卒業～18歳)
- 18歳～ (高校卒業後)

市町村ごとの申し込み数



質問や困っていること、その他

医療的ケアデバイスによる生活の制限（酸素・呼吸器）

災害の不安 電源・寒暖の備え

通所施設、短期入所・レスパイトの悩み

子どもとのコミュニケーションや状態把握の難しさ

18歳以降に通う病院や進路の不安

ケアが大変。手技を改めて知りたい。

※ 内容を簡略化し、まとめさせていただきました。

参加申し込み：B.関係職種

市町村・県	数						
さいたま市	28	新座市	16	狭山市	22	白岡市	1
所沢市	2	深谷市	5	熊谷市	26	八潮市	3
ふじみ野市	1	川越市	25	幸手市	1	飯能市	4
伊奈町	3	川口市	4	鴻巣市	1	富士見市	7
羽生市	1	川島町	5	坂戸市	15	北本市	2
越生町	1	草加市	4	三郷市	1	本庄市	1
越谷市	24	秩父市	12	志木市	5	毛呂山町	8
桶川市	1	朝霞市	9	春日部	1	嵐山町	1
加須市	9	鶴ヶ島市	3	所沢市	12	蓮田市	1
吉川市	3	東松山市	2	松伏町	3	和光市	4
久喜市	2	日高市	4	上尾市	3	県外	27
宮代町	3	入間市	3				

質問や困っていること、その他

72 件の回答

医療的ケアの勉強会が少ない。知識不足。

医ケア児の支援中の事故・リスク管理。安全管理。

職員としての心がけ。

保育、行事などの事例を知りたい。「療育」について知りたい。

けいれん発作に対する判断基準。対処法やメカニズムを知りたい。

サービスや集まれる場所の不足。情報入手の困難さ。

災害対策について詳しく知りたい、説明できるようになりたい。

事業所でできる災害対策について知りたい。

『移行期』のケアなどについて知りたい。

関わりはまだないが、今後のために知りたい。

子どもとコミュニケーションがうまく取れない。

覚えておくべき薬剤や種類。

医療的ケア児・ご家族に相談員ができることは何か。

今の仕事をしている中で一番大切にしていることは何か。

変形が強くなっている子のポジショニングを知りたい。

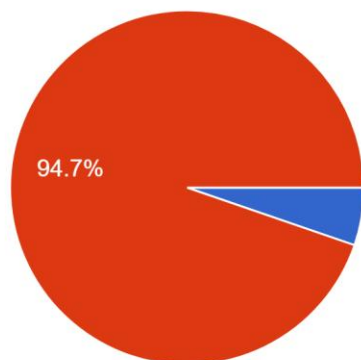
※ 内容を簡略化し、まとめさせていただきました。

かけはしチャンネルWeb講座2025 アンケート結果と講師回答

2026.3集計

今回はどなたが視聴されましたか？

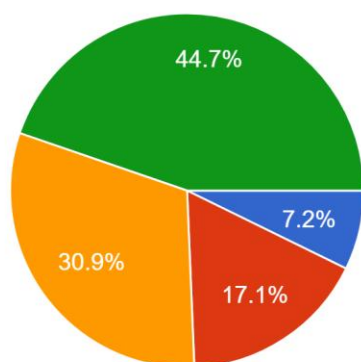
152 件の回答



- 障害のある方本人またはご家族
- 支援・教育・医療等の関係者（病院・事業所・療育施設・行政・学校など）

あなたの年齢を教えてください

152 件の回答



- ~20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代~

各講演について

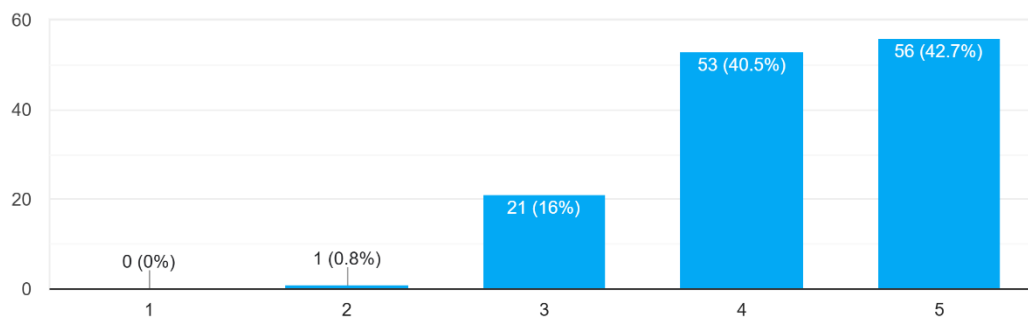
講演内容についてはいかがでしたか（5段階であてはまるものにチェックをお願いします）*

	1	2	3	4	5	
ものたりない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	大変満足

減災対策について考えよう！

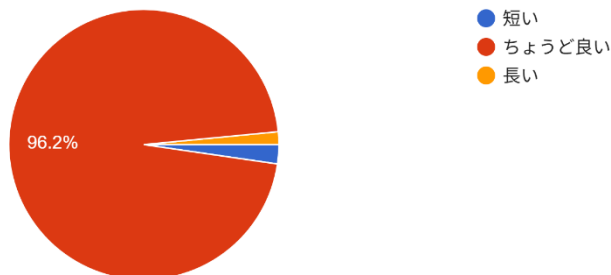
講演内容についてはいかがでしたか（5段階であてはまるものにチェックをお願いします）

131 件の回答



講演時間について一番近い感想を教えてください。...選んだ方は最適だと思う時間をお書きください

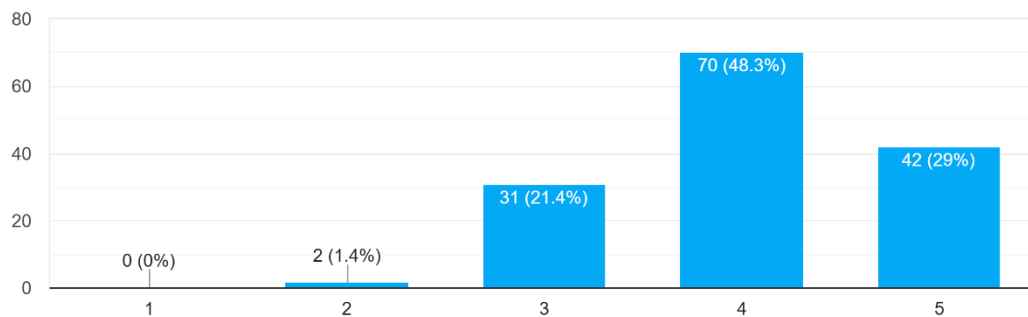
131 件の回答



けいれん発作について

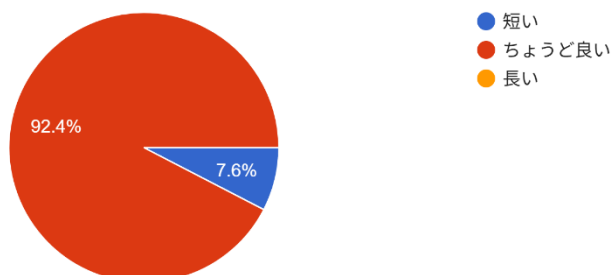
講演内容についてはいかがでしたか（5段階であてはまるものにチェックをお願いします）

145 件の回答



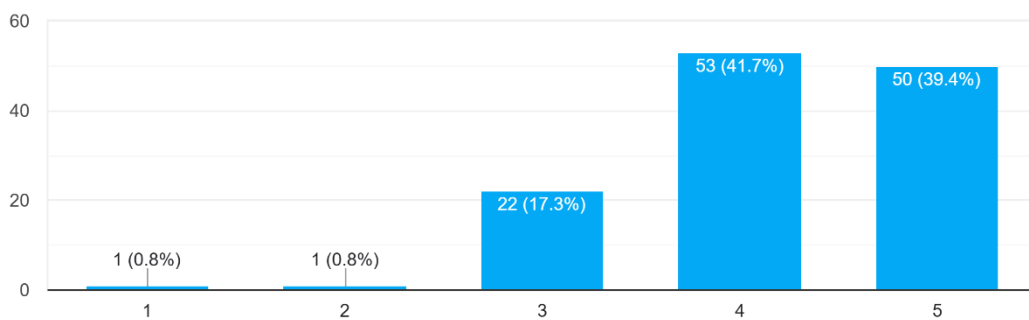
講演時間について一番近い感想を教えてください。...選んだ方は最適だと思う時間をお書きください

145 件の回答



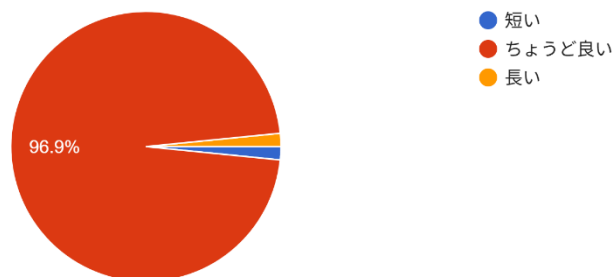
講演内容についてはいかがでしたか（5段階であてはまるものにチェックをお願いします）

127 件の回答



講演時間について一番近い感想を教えてください。...選んだ方は最適だと思う時間をお書きください

127 件の回答



減災対策について考えよう！

Q. 児童発達支援センターで取り入れやすい減災対策とは何でしょうか？

A. 行ったほうがよさそうな減災対策をいくつかイメージしてみたので「取り入れやすさ」の優先順はご検討ください。

【避難に関すること】

- ・避難経路の確認：外に避難するまでに倒れてくる棚やおちてくるものはないか。
- ・避難に必要な人手の確認：エレベーターが使えない時の垂直避難時など。
- ・避難の優先順位：どの子から順に誰が避難させるか。
- ・子どもに応じた避難セットの確認：例）本人だけでは注入や吸引できない。グッズが必要。
- ・避難場所や避難所までの動線確認：お散歩で道路事情や落ちてくる看板や窓ガラス、踏切などの確認（そもそも避難場所や避難所に移動するのか）
- ・発達障害の子のパニック対策

【連絡調整】

- ・お迎えの親との連絡方法：携帯電話が使えなかったときの第2、第3の手段
- ・親と1日連絡がつかなかった時の対応：こどもをどこにあずけるか
お迎えは親じゃなければだめなのか、など
- * 水害はまだしも地震など広域被害の場合「両親ともが職場から離れられない職業」はないのでしょうか。

【備蓄】

- ・現在の水の使用量を確認し、1~2日分必要な水の量をわりだす⇒備蓄
- ・災害用トイレの準備
- ・電源：お金がかかるので「取り入れやすく」はないが検討は必要。
ポータブル蓄電池の購入⇒充電できる場所をみつけておく（デパート、自治会、役所等）
（株）イーコースと契約してくれる工事車両業者をみつけておく（電源ドナーを使いたい）
公用車を電気自動車にする
- ・災害支援型自動販売機（W i - F i 機能つき）の設置

* 減災対策は利用者分しかない事がおおいが、職員の事も考えておく必要があります。

例えば備蓄なら万が一職員が宿泊しなければならない時に備えて準備するとか。飲食・災害用のトイレもです。

Q. 医療的ケア児者を受け入れるグループホームの開設を進めています。建物を作るにあたり、災害についても事前に頭に入れた状態で進めることができそうです。災害時に危険ではない室内のレイアウトなど具体的に知りたいと感じました。

A. 作るのであれば初めから棚などは転倒防止対策をし、扉も揺れで自動ロックがかかるもの、窓ガラスなどは飛散防止にすればいいと思います。こういうグッズは市販品にもありますが、そろえるとなるとかなり高額になりますし、自分たちで設置していくのも手間がかかります。
あとは廊下を広めにとることです。バギーが使えない時は利用者を2人で抱えて避難する可能性があります。過去に被災した施設へ見学にいけば具体例を教えてくださいと思います。

Q. 重度の障害がある方の避難所生活などについて、研修があるとありがたいです

A. 重度の障害があるかたは基本的に避難所に行かないので、話ができる講師がいないと思います。
寝たきり+注入で体育館だったか？に避難した保護者の方の記事があったので、探せば親御さんからお話を聞くことができるかもしれません。

安心して過ごせる生活を目指して～療育職員としての心がけ～

【講師より】かけはしチャンネルWeb講座のご視聴ありがとうございました。こんなに多くの方にカルガモの家や療育を知っていただきとても嬉しいです。今回の視聴での質問に答えていきたいと思います。

Q. 普段の療育の中で心掛けていること、一番大切にしていること。

A. 療育をしている中で、利用児たちの気持ち、思いを大切にしています。
意思疎通が難しかったり、気持ちをうまく伝えられない利用児が多いですが、一緒に考え、遊び、喜び、悲しみなど様々のことを共有して一緒にいれる時間を大切にしています。

Q. 普段の療育の様子、活動内容の悩み

A. 普段の療育の様子、遊びの内容については2024年のかけはしチャンネルの動画をご覧ください。
また、見学は随時受付しています。

Q. クッションなどが無い場合、どのような工夫があるのか

A. 長期入所している児は、担当のリハビリ職員がおり一人一人に合ったクッションや腹臥位マットを作成しています。また、短期入所やおひさま利用児は、特参されるご家族もいますが持参が無い場合は枕、ベッドパットやバスタオルを丸めて使用するなど工夫しています。

Q. 夜間の体位交換、排泄について

A. ほとんどの利用児が夜間や入眠時に排泄交換、体位交換を行っています。
自己体動や自身で寝返りがうてる児は体交がそもそもないため夜間は排泄交換はせず、身体を動かすと逆に睡眠の妨げになり夜に眠れない児に関しては睡眠を優先するため排泄交換や体位交換を行わない児も数名います。

けいれん発作について

【講師より】発作時の対応を知りたいというご意見が多かったので、数あるweb上の情報からわかりやすく信頼のおける日本小児神経学会のサイトをご紹介します。

[家族と非医療従事者のための子どものけいれんと意識混濁への全国統一对応マニュアル - 一般社団法人日本小児神経学会](https://www.childneuro.jp/about/7295/)

<https://www.childneuro.jp/about/7295/>

その他 事務局からお返事させていただきます。

Q. 話の内容を同時に画面下に文字でおこしてくれていましたが、そちらが目立つように構成されていた上に、誤字脱字がかなり多く、かえって見づらかったのが残念でした。

A. 今回の講座内容には文字起こしは一切使用していないため、個々の設定で文字起こしのon/offを行うことで解決すると思います。最近のYouTubeでよく見られる現象のようです。次回の参考にしてください。

Q. 資料の開示はないのでしょうか？

A. 資料の公開許可をいただいていた講師もいましたが、管理の都合で今回は資料なしのままで進めさせていただきました。

Q. 安心して過ごせる生活を目指してだけが視聴できませんでした。どうしてでしょうか？

A. 一般の他のアカウントで確認もしましたが、同様の現象は起こりませんでした。
ん～……謎です。

Q. どれも身近なことなので、よかったです。
視聴期間がもう少し長いと良いかと思います。

A. ありがとうございます。
また来年度に向けて検討いたします。

感想と今後の要望について

皆さま、お忙しい中でたくさんの感想とご要望・ご意見、まことにありがとうございます。「もっと話を聞きたい」「実践してみます」などのメッセージもいただき、講師も事務局もとても嬉しく思います。

全てのご感想を載せられれば良いのですが、とてもたくさんの回答をいただきましたので、一部抜粋&まとめて以下にご紹介させていただきます。

<ご感想>

- どのテーマもとても現場に活かせる内容で参考になりよかったです。
- 減災について考えた事がなかったので、とても参考になりました。けいれんについてもこれけら医療的ケア児に関わる事が増えるので勉強になりました。
- 防災という言葉はよく耳にしますが、減災という言葉に出会うことができ、新しい学びでした。
- 各先生のお話を伺っていると、様々な人との関りをととても大切にされていることがわかりました。子どもたちのために、協働していく必要性を改めて感じました。
- 色々なサイトの紹介やアドバイスがとてもわかりやすくて助かりました。
- これから始まる医療的ケア児の保育・療育の助けになる、実践に基づいた情報で大変ありがたかった。
- 減災対策など、繰り返し機会をいただくことで、改めて必要性を感じる事ができました。けいれん発作は、本人の負担もあり、親にとっても、スタッフにとっても、緊張する対応であると思うので、視聴させていただき、感謝しています。子供達は、日々成長していくので、その成長を促せるような関わりや、その時に必要な情報を伝えることができるように、また機会があれば講座を聞いて学んでいきたいと思ひます。ありがとうございました。
- 「最近では難治性てんかんに対する外科的治療もある」「行動一つ一つに生活が潜んでいる」「災害時に保護者に安否確認が集中すると、充電が切れる」など、初めて知った内容、成る程と思わされる内容があり、大変にためになりました。
- 来年も楽しみにしています。
- 視聴させていただいた3本の動画はどれも興味深く、勉強になるものでした。なかでも、減災については、医療的ケアを要する子どもたちに関わるものとして、何をどのように備えておくべきか、という考えだけではなく、今子どもちと過ごしているときに災害が起きたら何がつかえるのか、今ここで起きたらどうする、という視点でもう一度保護者や教員と減災について話をしなければ、という気持ちが沸いたというか、気持ちが焦るというか、そのような気持ちになる動画でした。講師の皆様ありがとうございました。
- どれも身近なことなので、よかったです。視聴期間がもう少し長いと良いかと思ひます。

※ 他、多数ありました。

<今後に向けた要望、聞きたいテーマ>

- 重症心身障害児者への日々の活動内容の提案。
 - 実際の映像や順序など、もっと詳しく知りたかったです。実践に近い形だと嬉しい。
 - Webで学べる機会があれば積極的に参加したい。定期的にこのような企画をしてほしい。
 - 重身児にも動ける子、動けない子がおられ、それぞれの体重管理をどうすべきか関心があります。
 - 医療的ケア児の保護者支援などが学びたい。
 - 医療的ケア児の心のケア、療育。保育所での関わり方。
 - 施設外の方々のボランティア活動や、それぞれの子どもにどんな計画を立てて、どんな成長が見られたりするのかが知りたい
 - 災害についてもっと知りたい。避難所生活
 - 移行期について。
一時的でも長期的でもご家族には医療的ケア児を預ける所がもっとあって欲しいと思うので現在どのような状況なのか知りたい。18歳以上の受け入れもスムーズに行けるのか知りたい。
 - 遊びやその際の姿勢づくりについて。気管切開、腹膜透析などのお子さんのプール遊びについて。
 - 集団生活を送るうえで気をつけた方が良いこと。集団のメリット/デメリットなど
 - 資料があると良い。ダウンロードできるようにしてほしい。
 - 自宅でもできるストレッチなど。療育の中でのリハビリについて。
 - 医療的ケア時の放課後デイサービスについて
 - 医療的ケアの中でも、糖尿病の児童生徒の対応について具体的に知りたい。
- ※ 次回に向けてのご要望もたくさんいただきました。

かけはしチャンネルの過去の動画の一部をホームページから視聴できるようにしています。

※ 権利やプライバシーの事情で全てではありません。

もしご興味ございましたら、ぜひご視聴ください。

動画の内容は初回配信日の内容となっているため、古い情報も掲載されています。

ご承知いただければ幸いです。

ご視聴およびアンケートへのご協力、まことにありがとうございました。

埼玉県医療的ケア児等支援センター 地域センター かけはし
かけはしチャンネルWEB講座 事務局より